

STAND UP!

うちなだ議会だより Vol.102
平成22年7月27日

議長に北川 進氏を選出	 2
3 保育園建設(民設民営)に着手	 3
委員会レポート	 8
一般質問 - 6人が登壇 -	10
ありゃ～どうなったがいね～	16
突撃！街かどインタビュー 安田孝子さん (ハマナス)	18



地域を守る消防団 (平成22年度河北郡市消防団連合訓練)

発行 石川県内灘町議会

新議長に

6月 定例議会

8日～17日

北川進氏を選出



6月17日の議会最終日に能村憲治議長が辞職したことに伴い、投票による選挙を行なった結果、新議長に北川進氏が選ばれました。また、石川県後期高齢者医療広域連合議会議員にも指名推選されました。

北川進議長のプロフィール

議員活動歴 平成15年4月初当選。現在2期。
広報対策特別委員長、産業建設常任委員会正副委員長、
総務常任委員会正副委員長、決算特別委員長、議会運営委員等を歴任。

家族 妻と長女
住まい 向陽台在住
趣味 読書、スポーツの観戦
信条 何事にも誠心誠意努力する
好きな言葉・座右の銘 感謝の心



北川 悦子議員

広報対策特別委員長



渡辺 旺議員

総務常任委員会副委員長
河北郡市広域事務組合議会議員



藤井 良信議員

議会運営委員
総務常任委員会委員長

新議長の就任に伴い、各委員会の人事が行なわれました。

一般会計 補正予算

保育園建設など 平成22年度 5億7,171万円を追加

平成22年第2回定例会が開催され、一般会計補正予算は5億7,171万円を追加し、総額80億6,371万円となりました。各保育所の民設民営による保育園の建設工事を行います（賛成多数）。平成21・22年度補正予算9件のほか、条例8件の17件を審議し、すべて原案のとおり承認・可決しました。

以下、主な内容を紹介いたします（5ページまで）。

主な内容

平成23年4月1日開園予定

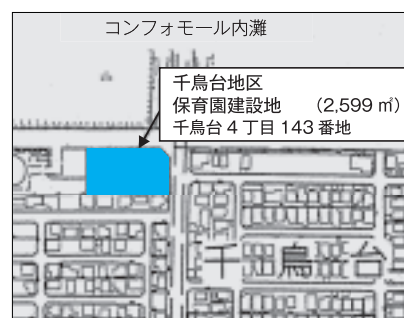
3保育園（民設民営）建設に4億5,827万円

【共通サービス】地域子育て支援センターを設置、マイ保育園登録事業、病後児保育、0歳児からの保育、延長・一時・休日・障害児保育の実施

千鳥台地区

1億5,034万

事業者 （社福）泉の台保育園
定員 120人



大根布地区

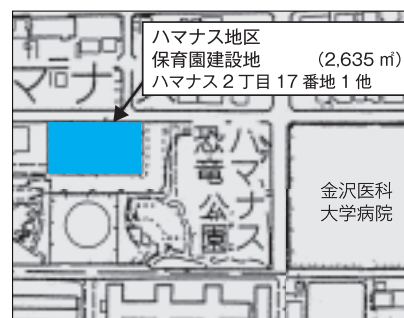
1億3,183万

事業者 （社福）白帆会
定員 90人

ハマナス地区

1億7,511万

事業者 （社福）鶴が丘乳児保育園
定員 140人
その他の特別保育事業
夜間保育の実施



向陽台保育園耐震補強・ 改修補助事業

3,000万円

園舎老朽化に伴い、耐震補強工事及び調理室などの改修工事を行なうための補助金

鶴が丘乳児保育園 病後児保育の補助事業

433万

鶴が丘乳児保育園における、病後児保育事業（体調不良児対応型）を実施するための補助事業



七夕のつどい

宮坂学童保育クラブ 耐震化事業

1,302万円

宮坂学童保育クラブの設計管理委託業務と耐震補強工事

武道館耐震診断・補強計画 作成業務

200万円

昭和50年建築の内灘町武道館を耐震診断し補強計画を作成する

緑台地区雨水排水路 断面調査検討業務

120万円

緑台1丁目付近の側溝集水区域の確認および排水ルートを調査・検討する

緊急雇用対策事業

2,000万円

内灘町全域の動植物の種類・生息域などを調査し、生物分布図を作成する委託料 **1,000万円**
現状の課題や実施等の管理・運営を含め自転車シェアリングシステムの導入について調査する委託料 **1,000万円**

北部地区周辺の開発等 検討業務

300万円

白帆台以北の大型商業施設予定地での開発事業手法等の検討と、総合公園周辺における公共施設整備計画の策定



宮坂学童保育クラブ

総合公園駐車場進入路整備 工事

200万円

展望レストラン・サイクリングターミナル裏に車両通行できる道路を整備する

条例

職員団体職員の行為の制限の条例

人事院規則の改正に合わせ、休日の代休日および時間外勤務代休時間を追加する改正
(全員賛成)

町税条例

地方税法の改正を受け、個人住民税の扶養控除の廃止・縮小に伴う課税最低限を引き下げないためと、たばこ税の税率引き上げに伴う改正
(全員賛成)

都市公園条例

大根布第三公園を廃止し、代替地として大根布保育所の敷地を公園予定地に指定する改正
(全員賛成)

企業職員の給与の種類および基準に関する条例

雇用保険法等の改正に伴う改正
(全員賛成)

水道事業給水条例

石川県の水道単価引き下げを見据え、水道料金を引き下げするための改正
(賛成多数)

火災予防条例

個室型店舗の避難通路確保に関する規定を追加する改正
(全員賛成)

討論 議案第34号

保育園建設

関連予算について

反対だ！

公立保育所を存続せよ

北川悦子議員 公立保育所は児童福祉法の保育実施義務を果たす最も基本的な施設だ。地域の保育の基準となり、公立保育所が保育士の配置で最低基準より上乘せをした場合には、私立保育所にも助成する根拠となってきた。公立保育所の果たす役割は今後ますます大きくなってくる。地域に根ざす公立保育所の存続を願い反対する。

賛成だ！

民営化促進計画に沿って進めよ

生田勇人議員 町は町立保育所民営化促進計画に示されているとおり、基準となる保育所は二ヶ所を残しそれを指標とし、その保育所でも保護者のニーズに得られるよう休日保育、延長保育などを行なっている。残すべきところは残し、計画に沿って保護者のニーズに応えるべく民営化を促進するため賛同をお願いする。

内灘町上水道料金改定表

(税抜き)



水道メーター検針

区分 口径	現行料金				改定料金					
	基本料金 (1ヶ月につき)		超過料金 (1㎡につき)		基本料金 (1ヶ月につき)			超過料金 (1㎡につき)		
mm	水量	料金	超過水量	料金	料金	値下額	改定率	料金	値下額	改定率
13	10㎡	1,120円	11㎡以上	160円	920円	200円	17.9%	150円	10円	6.3%
20		1,280円			1,080円	200円	15.6%			
25		1,280円			1,080円	200円	15.6%			
30		4,060円			4,060円	0円	0.0%			
40		5,480円			5,480円	0円	0.0%			
50		9,360円			9,360円	0円	0.0%			
75	800㎡	133,830円	801㎡以上		133,830円	0円	0.0%			
100	900㎡	149,310円	901㎡以上		149,310円	0円	0.0%			
125	1,000㎡	164,830円	1001㎡以上		164,830円	0円	0.0%			
150	2,000㎡	319,980円	2001㎡以上		319,980円	0円	0.0%			

人事案件

固定資産評価審査委員

古平 真一 氏

(新任・白帆台) (全員賛成)

人権擁護委員

切石権之介 氏

(再任・緑台) (全員賛成)

栗森 優子 氏

(再任・アカシア) (全員賛成)

選挙

選挙管理委員

宮本 澄江 氏

(再任・室)

竹川雄二郎 氏

(再任・鶴ヶ丘)

齋藤 政代 氏

(再任・大根布)

山田 克己 氏

(新任・旭ヶ丘)

選挙管理委員補充員

今村 克博 氏

(鶴ヶ丘)

丸一 邦彦 氏

(大根布)

夷藤 芳夫 氏

(向粟崎)

生田外喜枝 氏

(白帆台)

意見書を採択

採
択

提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、参議院議長、衆議院議長



提出

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書
(賛成13人、反対1人)

◎提出議員 恩道 正博

◎賛成議員 藤井 良信 夷藤 満

◎趣 旨

歯や口腔を健康に保つことが、健康や療養の改善に大きな役割を果たすことが実証されている。また国民医療費節減にも効果があることが「8020運動」によって実証されている。また、現行の歯科診療報酬では、歯周治療や義歯治療が保険では十分にできない。多くの国民は、歯科医療で保険の利く範囲の拡大と自己負担の軽減を強く望んでいる。

1. 患者の窓口負担を軽減すること。
2. 患者が良質な歯科医療を保険で受けられるように制度を改善すること。
3. セラミック(陶歯)など、安全で普及している歯科技術は速やかに保険導入すること。

あなたの請願

■ 継続審査

国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額を求める

1 回目

(継続に賛成12人、反対2人)

◎請願者 石川県河北郡内灘町字向陽台2丁目197番地

健康で楽しく暮らそう内灘の会

代表世話人 西村 昭

北川 悦子

◎紹介議員

北川 悦子

◎請願事項

1. 国民健康保険への国庫負担を1984年以前の「かかった医療費の45%」に戻すこと
2. 国民健康保険の事務費負担金を元の10/10に戻すこと
3. 国民健康保険料軽減負担金の国庫補助を元の10/10に戻すこと

討論

国民健康保険に国庫負担を求める

継続に賛成だ！

川口正己議員 継続審査の理由として、この請願書では1984年まではかかった医療費の45%が国庫負担だったが、それ以降は保険給付費の50%となっている。つまりかかった医療費の38・5%に引き下げられたとあるが、内灘町の場合は約40%を少し越しているため、今後も詳細な審査をする必要がある。

採択すべきだ！

北川悦子議員 加入者が安心して必要な医療が受けられる制度は助け合いではなく社会保障として存続させていかなければならない。苦しくなってきたのは国庫負担の引き下げによること、事務負担金の国庫補助を削減してきたことに原因がある。国の責任で皆保険としての役目を果たす必要がある。

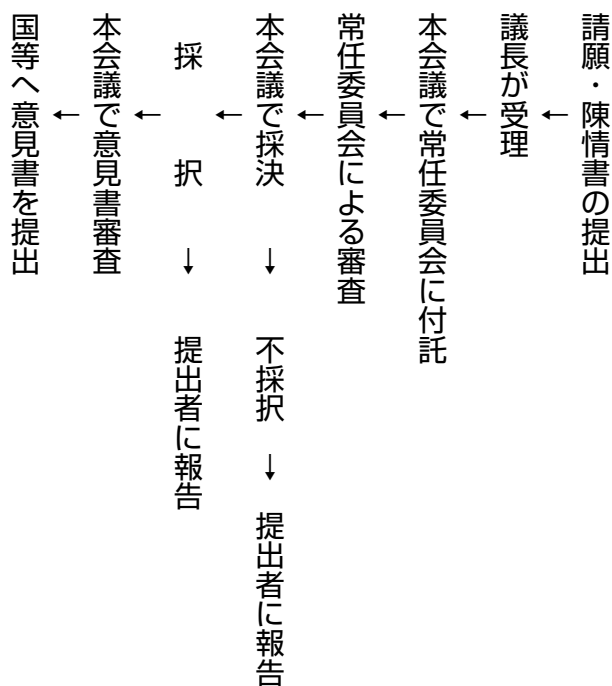
皆さんの声を国、県、市政に

町（国）民の皆さんの要望を国・県・市政に反映させる方法の一つに、請願と陳情の制度があります。

請願を提出する場合には紹介議員が必要ですが、陳情の場合は必要ありません。

請願や陳情は、担当の委員会で慎重に審査し、本会議で採択（請願の趣旨が認められること）とするか否かを決めます。採択された請願・陳情は、議会の意見書として国や県、関係機関等に送付します。

◆請願・陳情書のゆくえ◆



審査しました

介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める

2回目

（継続に賛成13人、反対1人）

EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する

3回目

（継続に賛成13人、反対1人）

■不採択

後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を国に要望する

（採択に賛成2人、反対11人）

討論

後期高齢者医療制度の廃止を要望する

反対だ！

夷藤 満議員 不採択の理由として、国はこの制度の廃止を決定しており、平成25年度から新たな医療制度にするとしている。二番目に、請願書には老人保険制度に戻すとされているが、この制度は超高齢化社会に対応できなくなった制度で、戻すことは国民に今以上の混乱を招きかねない。三番目に、窓口負担2割への引き上げを廃止するところがあるが、今現在凍結されている。

賛成だ！

北川 悦子議員 今もこの制度は続き全国では保険料値上げが出ている。平成25年度から新しい高齢者医療制度に移行するスケジュールが進んでいる。年齢も65歳からと、年齢によりまた若い人と別勘定として議論されている。全て国保加入とし、これ以上負担を強いる後期高齢者医療制度は即廃止すべきだ。

総務常任委員会

Q まちづくり基本条例策定を進めていく中で、町はこれからのまちづくりの方向性について明確に示せ。

A 町の政策の柱として住民参加と情報公開を進めてきた。いかにして住民の意見を取り入れるか、町民参画の仕組みを条例によって制度化しようと考えている。

Q ポップサーカスの交通安全の対策を示せ。

A 津幡警察署にてテレビ局と事業者とが打ち合わせを行ない、多方向からの駐車場への侵入進行ルートの誘導看板設置など具体的な交渉をしている。町としても万全を期したい。

Q 夏の内灘海岸の防犯対策はどうか。

A 今年は例年より早めの移動交番を要望している。内灘海水浴場連絡会にはポップサーカスの関係者も参加して防犯対策の取り組みを進めている。



開催中のポップサーカス

Q 災害時の避難誘導の手順について問う。

A 災害時は地元の自主防災組織が要援護者対策で避難誘導する。消防本部と消防団は災害の対応が終息したら避難誘導に入る。今後も住民サイドへの初期非難誘導を強く指導していく。

文教福祉常任委員会

Q 平成21年度の国保会計は2億円を超える赤字決算となる見込みだが、将来的に赤字をどう解消していくのか。

A 現状の町財政の厳しさも考慮に入れ、赤字解消に向けて町議会、国保運営協議会、県と慎重に議論を進めたい。

Q 特定健診（メタボ健診）の受診に関するアンケート調査を実施する目的は何か。

A 24年度での受診率が65%未満の市町は、国から後期高齢者医療支援金の最大10%をペナルティーとして科せられるため、受診率アップにつなげるため。

Q 緑台保育所移転後の跡地利用はどうなるのか。

A 地元町会からの要望もあるが、町全体の土地利用のなかで跡地利用を考えていきたい。

Q 今年度、体育施設利用料の見直しをするが、総合体育館2階に設置するスタジオ（軽運動室）の利用料はどうなるのか。

A 体育施設の利用料は、検討委員会を立ち上げ、見直しを検討していく。10月から使用できるスタジオの利用料は早急に決めていきたい。



改修が進む総合体育館

産業建設常任委員会

Q 総合公園の大型遊具を含め、公園等の遊具の保守点検の今後の進め方は。

A 小学校・保育所・公園等の遊具は、町の随時点検の他に業者委託により年に3回行っており、大型遊具は、施工業者が3年間点検を行なう。

Q 中高年齢者職業訓練奨励金は失業者対策として、より一層重要だ。検討することになったいた若年層への支給は進んでいるのか。

A 年齢を下げることは、現時点では進んでいないが、早急に検討したい。

Q 一般家庭における、雨水浸透枳の設置状況やPRは進んでいるのか。

A 浸透枍4件・貯留槽3件・浄化槽転用2件で計9件の設置があり、今後さらにPRに努めたい。



海族船サンセット号

Q 「都市計画マスタープラン」の策定委員会には、なぜ公募した委員がいなかったのか。住民の意見の反映は不十分でないか。

A 住民アンケート等で意見が反映されるため公募は行なわなかったが、今後公募を検討する。

環境開発対策特別委員会

都市計画マスタープランについて

Q 「宮坂北線」の道路整備は、20年後に整備するのか。

A 20年後を見据えた都市計画の観点から計画しているが、財政状況により、今後見直し等も出てくる。

Q 放水路以北の住宅地は、現在市街化調整区域だが下水道も十分に整備されている。市街化区域に編入するよう取り組め。

A 昭和45年に金沢都市計画が定められて以来、人口密度が足りないという理由で現在も調整区域の状態である。引き続き編入に向けて、整備手法を考え、地元や北部促進協議会と調整し進めたい。

新エネルギー・省エネルギービジョンについて

Q 町内公共施設では、省エネ対策は進んでいるのか。

A 太陽光発電の導入など取り組んでいるが、基本的な町の実行計画では、改修あるいは施設設備の更新などのタイミングで、省エネ設備の導入を進めている。



サイクリングターミナルに設置されている燃料電池



南 和彦 議員

内灘町霊園条例を改定せよ

廃止を含め検討 町長

南 現在、霊園条例施行規則では、第三条（使用者の資格）「申請の日までに本町の区域内に引き続き一年以上居住している者でなければならぬ」と定めているが町長の認識は。

町長 昭和49年に霊園整備に着手し、翌年度使用者の募集をした際に、区画の使用を希望する人が非常に多かったため、町としては町に長く在住されている方が優先して使用できるように配慮し制定したものである。

南 申請者において、明らかに定住の意思が明確に判断できる客観的根拠がある場合は、一律に条文による「一年以上の居住実績」の条件に固着した判断は、昨今ではいかがなものかと感じる。

そのため、内灘町霊園条例第三条の「一年以上」という文言を削除するか、もしくは居住実績と認めるための詳細な緩和条件を明記するべき。

町長 単に使用者の資格制限の条文を廃止することとは、一日だけでも本町に住所を有すれば区画が使用できることとなり、霊園の管理をする上で何らかの対策が必要と考えている。

8回の拡張工事を行なった結果、現在は使用権の設定されていない区画が約百区画ある。「一年以上の居住制限」は、廃止も含めて検討していきたい。

南 条例では、町長が認める特例条項を定めている。

町長と担当窓口では判断基準について、共通認識がされているのか。



平成20年度の霊園拡張工事

町長 現在、運用基準として決めたものはない。申請があつたその都度、事情を考慮しながら決定することになっている。

全般について

見直せ

南 条例制定以来、幾度も附則として改定履歴が明記されている。これは、制定当時の条例内容の全般について、その時々の本町の実情との整合性を図るための改定の経緯である。

昨今では核家族化など家族形態も変化しており、条例及び施行規則の全般について検討する時期にあると考える。

実施に向けて

検討

町長 霊園開設から36年を経た現在、世代交代の時期や核家族化も進展し、使用者の継承並びに霊園等の返還等についても、時代に合った霊園条例並びに施行規則改定が必要時期と考えている。

来年度に向けて実施できるように、検討していきたい。



川口 正己 議員

小型風力発電に助成せよ

補助事業を模索し支援策を検討 町長



温水プール屋上部

川口 近年、地球温暖化などの環境問題を真剣にとらえ、個人でも地球環境に優しい取り組みを試みている人たちが増えている。

一般家庭での自然エネルギーを利用した発電には、太陽光のほかに小型風力発電などがある。

「風の町」内灘でも、家庭用小型風力発電に助成する考えはないか。

町長 白山市など県内外の自治体で、小型風力発電の助成を打ち出しているところもある。

環境影響調査などを十分に検証した上で、町の特性を生かした新エネルギー導入の一翼を担う方策として、小型風力発電に対する国の補助事業なども模索しながら、支援策を検討したい。

遮熱塗料で

CO₂削減

川口 現代の建物は、一般家庭、会社などでもガラス面をふんだんに取り入れ、室内でも太陽の光が降り注ぐ構造になっている。

現在、そのガラス面からの熱の伝導を防ぐ効果がある**遮熱塗料**が開発されている。

ガラス面を多用した温水プールや小中学校でも採用を検討し、CO₂排出量の削減をはかれ。

削減効果が期待できる調査・検討する

教育次長 遮熱・保温効果も認められることから、冷暖房によるCO₂削減効果と燃料費の削減が期待できる。

町では環境施策に積極的に取り組んでいるため、遮熱塗装とする方法や複層ガラスに取りかえる方法など、その費用や耐用年数などを総合的に調査・検討していく。



拡大



大根布地内に設置されている風力発電機器

川口 公共料金の公平な徴収を図るために、全庁横断的な総合収納対策室を設置してはどうか。

税務部長 一段と厳しさを増す税並びに料金の収納を取り巻く状況については、関係各課が一致協力して対応していく。

遮熱塗料とは、窓ガラスに塗装するだけで省エネ効果がある透明の塗料。夏の太陽熱を反射させ、温度の上昇を防ぎ、室内環境の向上、冷房費の節約に役立つ。



水口 裕子 議員

紙おむつのリサイクルシステムを

先進事例を十分に調査 環境政策課長

水口 山林から間伐材や端材を運んでこなくても、使用済みの紙おむつを集めて処理すれば、ペレットストーブやボイラーの燃料に再利用できるシステムが開発された。

紙おむつから価値ある燃料が生まれる。

環境政策課長 森林伐採による環境破壊を防止する資源循環システムの構築は重要になっている。分別収集が困難であった使用済み紙おむつに的を絞った処理システムは、4千万円と高額である。先進事例を十分に調査、検証し、広域での設置も含め検討したい。

水口 人事異動で部長が4人から8人になった。行財政改革との兼ね合いはどうか。

副町長 緊急課題を取り組むスピードを高め、より機能性の高い体制づくりを目指して行なった。

水口 管理職手当や給与面などの影響は。

副町長 福利厚生費を含めて4名分で約200万円の増額になった。

水口 失業や給与カットが社会であふれている。役場だけ蚊帳の外で、住民の共感を得られるか。

副町長 人事評価制度の見直しから、職員の質、業務の質の向上に結びつけて、町民の期待に応える。

水口 6月23日から29日は、男女共同参画週間。今後の取り組みは。

生涯学習課長 地道だが、多様な取り組みを積み重ねていくことが大切。

水口 第2回女性議会の開催見通しについて。

町長 町民の要望にこたえる形で実施したい。

水口 多文化共生の時代。自前の日本語講師を養成するため講座を開催せよ。

町長 国際化事業の一環として、支援方を講じていきたい。

多文化共生とは、外国籍の人なども同じ地域の構成員としてお互いに認め合い、ともに地域づくりをしようという考え方。

ニセアカシアを 増やせ 植樹に 努めていきたい

水口 内灘町はニセアカシアに助けられてきた町。の発展を支え見つけてきた子供たちが虫や鳥の観察ができる環境を残していくために、遊歩道を歩く方たちに、ニセアカシアの苗木を植えてもらい、散歩に出るときはボトルに水を持参してやっていただければどうか。公園のアダプト（里親）制度と同じ考え方だ。

町長 ニセアカシアは町の発展を支え見つけてきた。昭和20年から30年代に大規模な植林が行なわれ、飛砂の被害も軽減され、砂丘の農地化と宅地開発の礎となった。

町民から愛され親しまれ、町を象徴する木となっている。植樹に努め、良好な林を保存していきたい。



アカシアロマンチック祭

若者危機からの脱却を問う

実務者会議を立ち上げる

町民福祉部長

藤井 若者を取り巻く環境はまさに危機的状況であるが町の認識を問う。

藤井 若者のニートやひきこもりについて、町の現状はどうか。

町民福祉部長 実態は把握していないが、家に閉じこもり社会に目を向けないケースがある。

藤井 ひきこもりやニートなど、現代の若者の就労問題は、もはや福祉の領域に入ってきた。

藤井 小中学校でのスクールカーストがいじめへの危険性を抱え込んでいる。

藤井 中国旅順口区初訪問の成果と今後の課題から、町は今、国際社会のグローバル化に沿って極めて重要なポジションに立っていると思うが、町行政の役割を聞く。

グローバル化へ
町の役割は

町民福祉部長 若い世代の環境は就職氷河期、非正規雇用、低収入など大変厳しいと認識する。

藤井 少子高齢化時代、若者のため町ではどのような支援制度があるか。

町民福祉部長 国や県レベルの対応が急がれる。町では要保護児童対策地域協議会の設置がある。



旅順開発区の全体模型を見学

中高生でのアンケートでは社会に希望が持てない、成功しても報われないう、成功するより好きなことをして暮らしたいとの内向きな保守化が進んでいる。

町の施策を問う。

藤井 町民の声を聞いた3月に策定した内灘町次世代育成支援地域行動計画（後期）の中で、ネットワーク強化を目指している。

地域コミュニティの活性化を図る

町長 今回の訪問は答礼に加え、旅順口区との現状理解を深め、友好関係を揺るぎないものとするよう実施した。

藤井 町民の声を聞いた3月に策定した内灘町次世代育成支援地域行動計画（後期）の中で、ネットワーク強化を目指している。

国際社会における価値観など認識を深め合い、まちづくりへの創造につなげる。

今後、子供やその家族にかかわっている関係者が継続して見守る実務者会議を立ち上げ、関係機関の連携強化を図る。

まちづくり政策部長 行政のスリム化を図る中で、今すぐ新たな専属部署の設置は難しい。

スクールカーストとは、自分の言葉が通じる仲間としか付き合わない学校内身分制度。いじめへの温床として心配される。



藤井 良信 議員



清水 文雄 議員

何よりも優先して改築すべき

早い時期に建設したい 町長

支援策を

検討する

まちづくり政策部長 県
都金沢市と当町を結ぶ北
鉄浅野川線は、町民の足
として大切な公共交通だ。
乗客数の減少で年々赤
字が増えている。全国の
地方鉄道の状況からも北
鉄単独での経営改善は難
しい。存続のための支援
策を検討していきたい。

清水 法定協議会の設置
を強力に推進して、他の
市町への働きかけが必要
だ。

清水 法定協議会の設置
を強力に推進して、他の
市町への働きかけが必要
だ。

清水 北陸鉄道の鉄道事
業が「維持が厳しい」と
伝えられている。各地域
で公共の足を確保するこ
とが自治体の重要な課題
だ。

地域公共交通活性化再
生法が制定され、法定協
議会の設置により、国が
補助を行ない支援する仕
組みが導入された。町の
見解は。

清水 民間会社としての
努力は当然だが、「浅電
を守る」ために法定協議
会の設置の考えは。

町長 主体である民間事
業者の強い決意が見えな
い。県も前へ出ていない
ので働きかけたい。

清水 町福祉センター

「ほのぼの湯」の耐震性
は不十分であることが明
らかになっている。

利用者は、昨年度も

22万2679人と多くの
町民に利用されている。

利用者の安全・安心を

確保して、より一層の町
民福祉の向上を図らなけ
ればならない。何よりも

優先して改築すべきだ。

町長 今どの場所での建
設がベストか検討してい
る。財政的に大変厳しい

ので、補助事業または起
債事業で対応できないか
現在検討中だ。

今年度中にその方針を
決定し、早い時期に建設
したい。

清水 住民の安全・安心

をはかる上で、緊急を要
するものは基金の条例改
定を含めて進めていくべ
きだ。

町長 基金は大事であり、
補助事業や起債事業が充
てられるなら充てた上で
対応したい。

清水 福祉センターが、
本館部分を使用停止して
1年が過ぎた。12年の春、
ホテル開業は間に合うか。

町長 市街化調整区域で
あり、民間業者の建設に
は条件整備が必要である。

町長 市街化調整区域で
あり、民間業者の建設に
は条件整備が必要である。



多くの人に利用されているほのぼの湯

法定協議会を

設置せよ

清水 北陸鉄道の鉄道事
業が「維持が厳しい」と
伝えられている。各地域
で公共の足を確保するこ
とが自治体の重要な課題
だ。

地域公共交通活性化再
生法が制定され、法定協
議会の設置により、国が
補助を行ない支援する仕
組みが導入された。町の
見解は。

清水 民間会社としての
努力は当然だが、「浅電
を守る」ために法定協議
会の設置の考えは。

町長 主体である民間事
業者の強い決意が見えな
い。県も前へ出ていない
ので働きかけたい。

町長 主体である民間事
業者の強い決意が見えな
い。県も前へ出ていない
ので働きかけたい。



北川 悦子 議員

国保条例を改正せよ

財源の裏づけがない

町民福祉部長



水を大切に

北川 町の平均世帯所得と国保税の割合は、40歳代の所得100万円で18%と大変な負担だ。赤字解消のため保険税を上げれば、払えない方がさらに増える。

町民福祉部長 滞納の要因は、被保険者の保険税納付意識の低下や近年の景気の低迷が挙げられる。国保の一部負担金減免は、基準が平成22年度中に国から示される。その後、減免基準を作成する予定。

保険税の減免措置は、財源の裏づけがなく、他の被保険者の保険税の引上げとなり、町民の理解は得られない。

北川 林帯遊歩道、鶴小前、室地区県道沿い、湖西からの承水路沿い草刈等、通学路の安全を確保せよ。

都市整備部長 早急に対応する。室地区の県道、西部承水路沿い道路は津幡土木事務所に除草を依頼。



鶴ヶ丘小学校付近の危険箇所

北川 子宮頸がんの予防ワクチンに、町独自の助成が必要ではないか。

北川 常設で気楽にパソコン利用を援助する体制づくりができないか。

北川 ひとり暮らしの方々の負担軽減に基本水量の最低基準の見直しが必要ではないか。

北川 今後、推移をみて基本水量の見直しを検討していきたい。

全体の25%

推移をみて検討

町長 平成21年度は、基本水量10㎡以内の世帯が全体の25%であり、年々少子・高齢化が進み、また節水型の機器普及もあり、だんだん使用水量は少なくなってくる。

基本水量10㎡の

最低基準見直し求む

北川 県水料金の単価が1㎡当たり20円引き下げられることを受け、7月使用分より基本料金の200円引き下げ、超過料金を1㎡当たり10円の引き下げ案が出されている。

町の基本水量以下の世帯の割合を問う。

定例会での一般質問のゆくえ

肺炎球菌ワクチンを助成せよ

インフルエンザの重症化を防ぐため、肺炎球菌ワクチンの投与が大変有効とされている。1回の予防接種に6千5百円かかるため、多くの自治体でワクチンの公費助成をしているが、当町でも早急に助成せよ。

【平成21年9月議会 川口 正己議員】

答 弁

実施に向けて検討する

その後

65歳以上の町民を対象に、生涯1度だけの予防接種に対し、2千円の助成を昨年11月20日から開始した。

昨年度は436件の申請があり、今年度も受け付けている。

必ず、接種前に、保健センターに申請し、交付された「助成券」を持って、接種しましょう。

※ 接種後の払い戻しは、おこないませんので、ご了承下さい。



医療制度改革の町の対応は

平成20年度から、町は保険者として加入者の健診、保健指導等が義務化される。この取り組みが将来の内灘町の住民の健康、医療費、介護保険等に関し重要な責任を持つことになる。

この改革が町に与える影響とその取り組みを問う。

【平成19年6月議会 能村 憲治議員】

答 弁

特定健診計画の策定をいそぐ

その後

健診受診率向上のため、21年度未受診者に受診勧奨のダイレクトメールの発送や、モデル地区を選定し勧奨説明会を開催した。今年度は、全地区で説明会を開催し、未受診者への電話案内や役場・医療機関窓口へ「健診を受けよう」卓上のぼり旗の設置、マグネットシールを公用車に張るなど特定健診のPR作戦を実施している。



健診は定期的に

交流を深める

中国大連市旅順口区

を訪問

揺るぎない友好関係へ

5月24日～26日

今回の訪問は、本年2月3日に旅順口区代表団が本町を来訪され、友好交流の協議に関する基本合意書を町と取り

交わし、招待を受けたことに加

え、旅順口区の現状理解を深め、友好関係が揺るぎないものとなるよう実施されました。

実際に旅順口区に入り、自然環境や観光資源に恵まれた土地柄と、近年の開放政策による目覚ましい発展を目の当たりにしました。

旅順口区政府は、交流の重点課題として、教



近代化が進む旅順風景

育、観光、環境を掲げ、教育では、大連医科大学を中心とした学園都市として、観光では風光明媚で歴史遺産の多い観光都市として、また環境に配慮した開発都市を目指しております。

今後は相互理解を一層深め友情を育むため、多くの人々が往来を重ねる人的交流が推進されることを望みます。

地方自治の振興と発展に貢献

八田外茂男議員と中川達議員に5期以上の在職議員として石川県知事表彰が贈られました。



清水文雄議員に11年以上の在職議員として石川県町村議会議長会表彰が贈られました。



能村憲治議員に全国町村議会議長会特別表彰が贈られました。



3年ぶりの入賞
平成21年4月発行の議会だより97号が、第24回町村議会広報の全国コンクールで入選を果たしました。



議会を傍聴しませんか

次の議会は**9月**に開催されます。
傍聴の受付は、当日の3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

議会録画をご覧ください

●町ホームページで、インターネット配信されています。

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp
町ホームページ <http://www.town.uchinada.lg.jp>



突撃! あなたの声

街かどインタビュー

皆さんに歌ってもらいたい

今回紹介する人は、ハマナスの安田孝子さんです。

◆アカシアロマンチック祭のオープニングに歌われた「内灘海物語」感動しました。歌の誕生をお聞かせ下さい。

○この歌は、1992年第7回国民文化祭において「光と波と砂丘のメロ



ディーin内灘」をテーマに、「海のうた全国作曲コンクール」が内灘で開催された際、応募作品650曲の中から選ばれたものです。指導者の片岡のり子先生（大学2丁目）が、「内灘女声コーラス『波』」にびったりの曲。機会ある毎に『波』から発信していき、町民の皆さんにも歌って貰えるようになりましょう」と選ばれた曲です。

◆内灘に住んで何年になりますか。

○30年になります。14年間宿舎に住み、その後、宅

地開発されたハマナスに家を建てたのですが、防風林、防砂林の重要性を感じています。

◆内灘町の魅力をお聞かせください。

○毎日変わる海の色と日本海に沈む夕日は素晴らしいです。また町が狭いのでコンパクトにまとまっていて生活し易いと思います。ごみの個別収集はともありがたいです。

◆議会を傍聴されたことはありますか。

○あります。決まりきったような質疑応答ではなく、もう少し中身を議論して欲しいと思いました。

◆町への要望はありますか。

○内灘にとって、浅電は重要だと思うので守って欲しい。



アカシアロマンチック祭

インタビュー 北川 悦子

内灘海物語

(うちなだマリン・ストーリー)

藤吉外登夫 作詩
高山 惇 作曲
平吉 毅州 編曲

アカシアの花の香りが
街空に漂う季節
胸の中 新しい空気で洗い
わたしたは大人に
昨日の悔いは 水色の貝殻に入れ
沖に流すの 朝の渚で
だからこの街が好き 海が好き
エメラルドグリーン両手ですくい
愛する人に贈りたい
マリンストーリー内灘

編集 後記

参議院選挙が終わった。

結果は、昨年夏に政権交代を果たし与党となった民主党が議席を減らし、野党自民党が議席を伸ばし、みんなの党はゼロから議席を獲得した。

これは、過去や未来にこだわらず、その時々状況や新しいものへと目を向ける有権者意識か？

来春は、統一自治体選挙だ。地域住民と最も密着した地方政治の在り方が決められる大事な選挙だ。

うちなだ議会だよりは全国コンクールで入選を受賞した。議会の動きを分かりやすく伝える役割を再認識し、編集氏は、紙面作りに汗を流す。〔清水文雄〕

広報対策特別委員会

委員長	北川 悦子
副委員長	南 和彦
委員	清水 文雄
委員	藤井 良信
委員	生田 勇人

